

## 夏休みの図書館の思い出

看護学部助教 播摩優子 (2019.6.12)

今はなき旧能代市立図書館（秋田県能代市）での思い出を書こうと思います。現在の能代市立図書館は能代市追分町（能代駅近く）に設置されておりますが、平成2年までは、能代市上町の市第1庁舎脇に設置されておりました（平成29年まで市第4庁舎として使用され、新庁舎建設に伴い解体）。当時、能代市役所第1庁舎裏に能代市立湊城第二小学校があり（平成19年に統廃合のため閉校）、私は小学1～3年生まで通学し、同級生や幼馴染達に囲まれ、毎日が楽しくて仕方がない、そんな日々を過ごしておりました。

夏休みになると小学校のプールが自由解放され、自然と幼馴染達がプールに集まり遊び、遊んだ後は、決まって図書館に立ち寄るのが日課となっておりました。図書館は2階にあり、白壁に描かれた絵を見上げワクワクしながら階段を駆け上がりました。図書館には冷房はなく、時折窓から入る風と図書館のやや暗くひんやりとした空間が、プールで遊んだ後のけだるい体に心地良さを与えておりました。図書館に通っていた理由は、当時夢中になって読んだ「ズッコケ3人組」などのシリーズ化された児童書を早く読みたかったからです。読み始めると、まるで自分が物語の主人公になった気分が、ドキドキする気持ちが止まりませんでした。家に着くまで、本を読むのが待ちきれず、歩きながら本を読み、自宅まで15分の道のりを1時間かけて帰宅する毎日でした。子ども時代の小さなエピソードですが、夏になると今でもキラキラとした思い出としてよみがえります。

大人になり、私は能代市役所に保健師として採用となりました。そして、老朽化しておりましたが旧図書館のあった第4庁舎で勤務する機会を頂きました（採用後13年間の勤務のうちの1年間ではありましたが）。白壁に描かれた絵を見上げながら駆け上がった階段、子供の頃と何も変わっていませんでした。今は旧図書館のあった第4庁舎そのものはありません。大人になり、子ども時代の懐かしい思い出の詰まった場所で働けたこと、とても貴重な時間を頂いたと思っております。